

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

G. ガリラヤへの第二の旅

4. イエスは王国の関係を優先する

デイリー・ジーザス・ニュース #090

基本テキスト: マルコ 3.20-21, 31-35 (並行テキスト: マタイ 12.46-50; ルカ 8.19-21)

20 それからイエスはある家に入られた。するとまた群衆が集まつたので、イエスと弟子たちは食事もできないほどであった。21 イエスの家族はこのことを聞くと、イエスを捕まえに来た。」この人は気が狂っている」と彼らは言った。

31そこで、イエスの母と兄弟がイエスに会いに来た。イエスがまだ群衆に話しておられるうちに、母と兄弟たちが来て、イエスに話したいと思った。彼らは外に立っていたが、イエスを呼ぶために人を中に遣わした。32 群衆がイエスの周りに座っていて、イエスに言った。」あなたの母と兄弟たちが外であなたを捜しています。話したいそうです。」

33彼は尋ねた。「わたしの母と兄弟とはだれですか。」

34 それからイエスは、周りに座っている人々を見回し、弟子たちを指差して言われた。

」ここに私の母と兄弟がいます。35 MT天 の父の御心に従つて神の言葉を絶えず聞いてそれを実行する人、つまり Mは私の兄弟、姉妹、母です。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = MT、マーク = M、ルカ = L、ヨハネ = J、使徒行伝 = A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、イエスの言葉は赤字で斜体で書かれています。旧約聖書からの引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト

| | |
|-----------|-------------------|
| 位置 | 2回ツアー、ガリラヤのどこか |
| タイムライン | 5月（16番目の月） |
| イエスの生涯の文脈 | 第4段階：ガリラヤにおける大宣教 |
| | G. 第2回ガリラヤ巡礼 |
| タイトル | 4. イエスは王国の関係を優先する |

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

コメント：

福音書に記されているイエスの二度目のガリラヤ巡礼中の次の出来事は、三つの共観福音書すべてに記されているため、重要です。パリサイ人による聖霊への冒涜と奇跡を見たいという邪悪な欲望に対処した後、イエスは次にもう一つの失望、つまり家族からの拒絶に直面しました。しかし、イエスは落ち込むことなく、いつものように神の国への視点に前向きに焦点を合わせ続けました。

母マリアはイエスを愛し、信仰を抱いていたにもかかわらず、息子が正気を失いつつあるのではないかと心配していました。何しろ、イエスは神だけが正当に言えるようなことを、自分自身について語っていたのですから。これは正常な人間の行動ではありません！イエスは皆の予想をはるかに超えると同時に、同時に人々を困惑させており預言者ヨハネさえも困惑させられました。イエスの、家族が、イエスが現実感覚を失ってしまったと思ったのも無理はありません。

イエスには4人の兄弟と少なくとも2人の姉妹がいました。マリアと他の4人の息子たちは、ガリラヤへの2度目の旅のこの早い段階でイエスに追いつき、連れ戻そうとしました。イエスの異父兄弟たちは、この時点ではイエスがメシアであるとは全く信じていませんでした。イエスが悪霊に取り憑かれ、悪魔と共謀しているというパリサイ人による非難は、イエスの近親者にとって非常に深刻な問題でした。そこで彼らはイエスを連れ戻しに來たのです。

イエスは、この機会を捉えて、神の王国における靈的な関係が地上の肉體的な関係よりも優先されることを明確にされました。真実は、私たちは三位一体の神の家族のために創造されたということです。父、子、聖霊は私たちの眞の永遠の家族です。三位一体の神は愛をもって私たちを創造し、救い、御自身の姿に変えてくださいます。私たちの永遠のアイデンティティは、一時的な地上の家族ではなく、三位一体の神との関係の中に見出されます。

の家族の兄弟姉妹との関係は、天国でも永遠に続きます。地上にいるのは、私たちと同じように、王イエスに従い仕えることを自らに誓った人々です。ですから、私たちと同じように神の御心を学び、行うことには熱心で、私たちと同じように神の御心の言葉を通して御心を理解している人々と過ごす時間を優先するのは避けられません。イエスは、地上の家族が父の御心を行るために自分に従っている人々との交わりの中に一時的にいないことに失望されましたが、それによって思いとどまったり、落胆したりすることはませんでした。イエスは、従順において自分とくびきを共にする人々との交わりを大切にされました。

神の国の民として、私たちは三位一体の神の王家の息子、娘として生きています。ですから、他の神の国の民、地上の家族、そしてあらゆる人間関係においても、神から与えられたアイデンティティが反映されなければなりません。イエスはまさにこれを信じ、実践し、これらの箇所を通して弟子たちに教えました。この真理はイエスの生涯を通して何度も明らかにされています。

応用：

三位一体との関係、そして神の御国の利益は、地上の自然な関係よりも優先されます。つまり、神の御心を行うことによって神を愛することは、自分自身、血縁者、文化、国家の利益よりも重要であるということです。この朗読におけるイエスの模範と教えは、これ以上ないほど明確です。

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

具体的に言うと、あなたの夫や妻、友人、恋愛関係、子ども、兄弟姉妹、親戚、会社、あるいは国家は、三位一体の神や神の国の利益よりもあなたにとって大切なのでしょうか。もしそうなら、どうしますか。